

STAFF ALPHA COMMUNICATION INC.

創刊1号

ストップウォッチ

あるふたより創刊

残暑お見舞い申し上げます。

皆様は日頃より格別のご厚情をいただき、誠にありがとうございます。毎日お暑い日が続きますが皆様はいかがお過ごしでしょうか。スタッフアルファも社員一同「暑いだけでなく、暑い」毎日を送っております。何が熱いかつて、ささです。皆様のおかげで今年の7月は弊社始まって以来の爆発的現場ラッシュだったのです。皆様の中にも二社三社受けて頂いた方がかなりいらっしゃいます。その節は大変お世話になりました。スタッフもイベントにおける登場人物をモットーに真の黒にならなくて頑張っていました。本当に黒いですが、もしかしたら元に戻らないかもしれませんが、でも怖がらないで下さい。イベント屋は決してテキヤさんではありません。さて、この度、夏の二換抄をハカキではなくこのように封書にさせ、いただきました。理由は二つあります。ひとつは皆様にもとアルファを知っていただき、なかなか弊社のことをお伝えする機会もなく、HPや会社概要などでご案内しているのですが、どうしても旬なアルファをお伝えしていきたいと考えたからです。HPも今後ほとんど更新しなくなり予定ですが、なかなかこういふアナログなお手紙もいらない、なんて思ってしまう。本誌の発行にいたりまして、そしてもうひとつの理由、それはですね、やはりこの夏の時期、昏中見舞いを自立させたからなのですよ。...というわけで、今後ともスタッフアルファコミュニケーションをよろしくお願いたします。

この夏、一番焼けた男

やはり夏は野外です。もう汗はガンガン、頭はクラクラ。でもビールはぐいぐい。なんといっても開放感と終了後の達成感、撤去後の脱力感。この3感王がたまりません。というわけでアルバイトのスタッフさんもクライアントの皆さんも一緒に汗を流して帰って来ます。HPも今後ほとんど更新しなくなり予定ですが、なかなかこういふアナログなお手紙もいらない、なんて思ってしまう。本誌の発行にいたりまして、そしてもうひとつの理由、それはですね、やはりこの夏の時期、昏中見舞いを自立させたからなのですよ。...というわけで、今後ともスタッフアルファコミュニケーションをよろしくお願いたします。



鈴鹿8耐にて仕事？の杉浦猛史。



横浜にて仕事？の杉浦猛史。



新事務所

ストップウォッチは「10周年記念イベント」を移転、旧事務所より同駅東口駅前へ。このことで、メンバーの方もお客さまはほぼ全員の方がおられる。そんなに狭いイメージは...



7月17日より8月28日まで、毎日開催される「緑日」イベント。今年にはさらにハワイア開催、スタッフアルファ得賞、ゲストやマジシャン...

「緑日」ダイズ... 7月17日より8月28日まで、毎日開催される「緑日」イベント。今年にはさらにハワイア開催、スタッフアルファ得賞、ゲストやマジシャン...

STOP WATCH COMMUNICATION SERVICE PROVIDER

ここから始まったSTOP WATCH、創刊から20年

2025 JANUARY Vol.43

30年の節目、キーワードは「コミュニケーション」大型イベント続々受注！



新・キャンペーンも企画中

30周年、社内の新たなシンボルは、青々とした未来を想起させる『木』



新サービス「サポーターズ」！展示会に初出展！

期待の新戦力は中途採用で獲得... オフィスでジム、始めました！

スタッフアルファ、最近のお仕事。(掲載を許可いただいたものをご紹介させていただきます。)



カルピス85周年イベント



ニッケルトプラザのイベントのワンコーナー「絵本を作る」



サンリオ夏まつり



全日本GT選手権

30年の節目、キーワードは「コミュニケーション」

2024年9月21日、当社は創立30周年という節目を迎えた。この記念すべき日を祝い、毎年恒例の周年記念式典「アルファプレミアム」が都内のホテルで開催された。30周年を象徴する今回の式典は、社員一丸となって作り上げた内容で、当社の歩みを振り返りつつ未来への展望を共有する機会となった。

目玉企画の一つとして、社員がチームに分かれて制作したブースが披露された。各ブースでは、30年の歴史を振り返る展示や、当社の credo を紹介するスペース、さらには内定者合宿で行われる「アルファすごろく」

の実演など、当社独自の文化や価値観を展示。

また、今回の式典は「企画が無いという企画」をテーマに掲げ、豪華な演出やコンテンツを設けず、キーワードは参加者同士の「コミュニケーション」。社員一同が積極的にお客様と会話を交わし、感謝の気持ちを直接伝える温かな会となった。

式典の最後には、当社代表の松山が挨拶に立ち、これまでの感謝と31年目以降への抱負を語った。当社は、これからも社員と共に新たな挑戦を続けていく。



30周年、社内の新たなシンボルは、青々とした未来を想起させる『木』

昨年10月以降に本社を訪れたお客様の中には、オフィス内に生じた変化にお気づきの方もいるだろう。この変化は、当社の創立30周年記念プロジェクトの一環として実施されたものである。

今回のプロジェクトの特徴は、外部業者に依頼するのではなく、社員自らが主体となり手掛けた点にある。「失敗しても、それが笑い話になればいい」という発想のもと、材料の買い付けから切断、面取り、塗装、組み立てに至るまで、全ての作業を社員の手で行った。この大胆な試みは、大平社員の監督のもと進行。特に塗装作業では、代表の松山が筆を入れる「塗り初め式」でスタートを切り、社員たちは慣れない手つきながらも工程の一つひとつ着実に進めていった。

最終的には、期待以上の仕上がりとなり、現在もオフィス内に設置されたプロジェクトの成果物は、まるで元々そこにあったかのような存在感を放っている。完成物は安定感も抜群で、社内の中心的な位置で堂々と鎮座している。



新サービス「サポーターズ」！展示会に初出展！

弊社はこの度、中小企業向けの社内行事コンサルティングサービス「サポーターズ」を新たにスタートさせた。「サポーターズ」とは社内イベントを行うにあたって、わからないところ、不安なところのみをご相談いただくことができるというサービスだ。利用者は弊社の30年分のアーカイブを自由に活用することができる。

その「サポーターズ」の情報を広めるため、弊社としては初めてとなる展示会への出展を行った。出展先は東京東信用金庫が主催する中小企業の優れた商品や技術が

集結するイベント「ひがしんビジネスフェア」である。今回は社員全員が役割ごとにチームに分かれ、文字通り社員一丸となった挑戦だった。当日は一般の方を含めた多くのお客様でにぎわい、弊社はその中で社内イベントに関するアンケートや出展ブースへの訪問、サービスの提案を行った。

展示会をきっかけに業種や地域の垣根を越えて、新たなビジネスチャンスへとつながる多くの機会を得ることができた。

今回できたつながりを絶たぬよう、さらなる仕事へつなげていきたい。



大型イベント続々受注！

当社の下半期も大型イベントが目白押しだ。大手百貨店催事スペースで、某有名漫画家の生誕90周年を記念したイベントを受託、運営をおこなった。

このイベントは、作品で描かれる様々なあそびを通してこどもたちに楽しい時間をすごしてもらうことをコンセプトとしている。二子玉川からはじまり、



オフィスでジム、始めました！

皆さんご存知(?) 筋トレ愛好家の代表松山は、行きつけのジムが閉店した悲しみの余り、社内にセミナーパーソナルジムを開設した。

会議室の片隅に所狭しと並べられた



大阪のなんば、新宿と3カ所を回り、多くのご家族に楽しんでいただいた。各会場では大いに賑わい、当社自慢の運営力を発揮した現場となった。東京の新たな冬の風物詩、クリスマスマーケット。当社は昨年から明治神宮外苑と大阪天王寺公園のスノードーム販売店の運営を受託した。

本場オーストリアで製造された職人手作りのスノードームを販売している。また同会場ではスノードームのワークショップ運営も行っており、来場されたお客様のFun Timeを演出している。今期は新規受注の案件も多く、新たな経験値を積み上げており、コミュニケーションサービスプロバイダとしての更なる飛躍に期待がかかる。

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。旧年中は倍旧のお引き立てを賜り深く御礼申し上げます。弊社はおかげさまで昨年、創立30周年を迎え新たな気持ちで31年目のスタートを切ることができました。社会の様相はというと2024年は大谷選手の大活躍や新札の登場から自民党の大敗などなかなかのニュースに溢れていたように思えます。一方、世界の中の日本としてはまいちの伸び悩みで円安は依然として回復せず、人件費、原材料の高騰は、我々中小企業を真綿で締めあげるような結果を呼ぶ、そんな1年間だったと実感しています。弊社に於いてはイベントの関連事業、特にキャラクター物販の運営事業が好調でした。年始間もなくの札幌雪まつり会場から年末のクリスマスマーケットまで1年を通じてほぼ毎シーズン、いえ、毎日、物販業務に携わっていた1年となりました。そしていよいよ2025年、今年は大阪万博が我々の業界にどのような相乗効果をもたらしてくれるのか楽しみです。さらに昨年のご発注いただいている大型イベントも多く、昨年も増して忙しい1年になりそうな予感です。新事業に加えて従来のイベント企画制作、演出もクオリティを上げて世の中にご提供していければいいと今からワクワクしています。

お取引先様に於かれましてはぜひとも弊社を引き続いでパートナー企業としてご愛顧いただきたくお願い申し上げます。また協力会社様に於かれましては弊社とともに成長する仲間として今まで以上のお力添えをお願い申し上げます。末筆ですがお取引先各社様のご繁栄と皆様のご2025年のご健勝を祈願いたしまして年頭のご挨拶に代えさせていただきます。

期待の新戦力は中途採用で獲得

昨年に引き続き、中途採用を積極的に実施し、今期は3名の中途社員が入社した。まず紹介するのは、ほぼ同期入社2名、古川 麻紀 (きのした ゆうた)。推し活を趣味に持ち、ラップを特技とする木下社員は、その個性的なキャラクターでスタッフアルファに新しい風を吹き込んでほしい。クライアント様、協力会社の皆様には、3名の活躍を是非応援頂きたい。



才気煥発

▽明治神宮外苑で開催されたクリスマスマーケットのブースを昨年末初めてお手伝いさせていただきました。いつの間にか「クリスマスマーケット」という文化がヨーロッパから渡ってきたが、仕事としてお受けするのは実は初めてのことである。多くの若者が年末の伝統行事のゴージャスな雰囲気浸っていたようだ。入場料を支払ってなお高額商品が売れていると聞く。▽一方ではツリーの点灯式やイルミネーションロードなどは一時期より落ち着いたように思える。いや、少なく

とも弊社の受注量は間違いなく減っている。ショッピングモールにいけばクリスマスの雰囲気浸れてイベントにも参加できる、そんなニーズは幾分薄れているようだ。ちなみに百貨店の売り上げは好調、昨年末には好業績をたたき出したと聞く。▽余談ではあるが街中を見るにクリスマスソングをあまり聞かなくなったような気がする。数十年も続くあの3曲ですら登場回数が減っているのではないか。とはいえ某ファストフード店のフライドチキンは相変わらず店頭に行列を作る

有様、ご家庭でのパーティーとリッチな気分浸れるイベント会場に二極化したのだろうか。▽クリスマスが終わると1週間で新年を迎える。新年、ニュースでは景気のいい話で賑わう。都内もマンションは多くが億ションとなっているが、そのまま消費に向かうのは富裕層だけの2025年になりはしないか、世間の暮らしぶりすら二極化するのではないかと一抹の不安も覚える。

アルファノヒト

ALPHA NO HITO

毎号、スタッフアルファの「ヒト」にフォーカスしてご紹介する本コーナー。今年度のMVPを獲得したスポーツ・文化制作部課長、大平宏光にインタビューを行った。



株式会社スタッフアルファコミュニケーション
スポーツ・文化制作部

大平 宏光 (おおだいら ひろみつ)

Profile

趣 味：居酒屋巡り、マイクラフト
特 技：手先の器用さからくるクラフトマン気質。
現場にいると何かと助かる人。
信 念：We make Fun time!
関わる全ての人を笑顔にしたいと思っている。

「まずは、MVPの受賞おめでとうでございます。受賞されたときの率直な感想があれば教えてください。」
正直自分が選ばれるとは思っていなかったので「えっ…」と思いました。
「心境、詳しくお聞かせください。」
率直なところ、こういった賞はもつと若手社員にこそ受賞してほしいと思っています。その為、驚きが一番でした。
ですが、こうして評価いただけたことは本当にありがたいと感じます。
MVPは、社員・役員の投票で決まる賞です。これは、社内の皆が私を推してくれたということですから、本心はとても嬉しかったです。
「ご自身では、何が評価されてMVPになったと思いますか？」
私自身も不思議に思っていたので、役員の方へ理由を伺いました。結果、昨年受注した案件が一番大きい功績だったようです。そちらは、10年以上前からお付き合いがある会社様との久しぶりのお取引でした。
今後は課長として、部下に対するマネジメントの部分でも評価いただけるように努力していきたいと思っています。

「音楽学校の出身とお聞きしましたが、どんなことを学んでいらつしやいましたか？」
音楽学校といわれると音大？とか思ってます。
「そうですね。違うのでしょうか。」
結論、音楽系の専門学校に通ってました。
「専門学校では、どんなことを学んでいましたか？」
2年間エレキギターをつくってました。最終的には、完全オリジナルのギターを製作しました。デザインから起こして、それを木材に表現していくために鉋を握って…って感じです。クラフトマンなんです。
「ところで日本酒好きとお聞きしたのですが、本当ですか？」
好きですね。元々、日本酒って飲んだら大変な事になるって先入観しかありませんでした。昔からよく飲んでたというよりも、飲み始めたのはスタッフアルファに入社してからなんです。
入社して間もなく、グルメイベントの担当になり、そのイベントのコンセプトが、『寿司』と『日本酒』でした。日本酒のおいしさを嗅ぎながらイベントを実行して、終わってから松山

社長と飲みに行きました。そこで初めて、日本酒を飲みました。マグロをつまみながら…それが本当においしかったんですね。そこからです。
ワインを飲むと頭が痛くなるのですが、日本酒は翌日に残ることは比較的ありません。
新潟出身者のDNAなんですかね。
好きな日本酒は父親の好きな『越乃寒梅』と先ほど話したイベントで取り上げられていた『日高見弥助』です。でも黒龍もいいんですよ。黒龍はね…
「あ、日本酒のお話はもういいです。」
「過去、担当されていた案件等で今に繋がっているものはありますか？」
私は今年で47を迎えました。イベント業界に入ったきっかけは19歳、イベントでの会場設営のアルバイトでした。
そこから28年の月日が経ち、色々な現場を経験してきました。今、私が唯一持っている武器は、この「経験値」だと思います。
お客様へ何か提案をする際も、「私の経験上…」というワードを使ってよく話していますので、自身でも様々な経験をしてきたなと感じます。
特に、運営現場においてはとても自信があります。
場数が多いからこそ、次の展開が予想できるのです。逆を言えば、経験がないことに対する不安というのはとても大きいと思います。予期せぬトラブルやアクシデント、経験したことのない問題に直面するというのは、誰しも怖いと思います。不安になります。
経験を重ねていけば、柔軟な考え方もできますし、いざというときに焦らないで対応することが出来ます。これはまさに場数があるのをいいます。部下にはいろんな現場を経験し、自分のスキルアップにつなげてほしいと思っています。
「昨年当社は30周年を迎え、31年目のスタートを切りました。今後の展望や期待すること、また挑戦したいこと等ありましたらお聞かせください。」
部下の教育、そして、新規案件の受注を精力的に行っていきたいと考えています。
今いたたいお仕事については、クオリティを保ちつつ、部下へ移譲し、部下の輝ける場を作っていきたいと思っています。そして、新たな案件獲得を図り、そのための仕組みを作っていきたいです。
「ありがとうございました。これからも更なる活躍を期待しています！」

 スタッフアルファの Facebook

ここでは、社内行事やイベント準備風景など、企業情報を続々と発信中。是非、右記の二次元コードからアクセス頂き、フォローそしていいねをお願いいたします！



社内行事コンサルティングサービス
新サービス **SUPPORTERS** 始動!
サポーターズ

中小企業向けの社内行事コンサルティングサービス「サポーターズ」。右記の二次元コードより詳細をご覧ください。

